

第 37 回「南山大学英語教員セミナー」概要

開催日時 : 2013 年 8 月 2 日(金)～8 月 4 日(日)、10 時～15 時

開催場所 : 南山大学名古屋キャンパス R 棟・R56 教室

テーマ : 言語理論・教授法からの新たなる発信 : 具体的な英語の授業に向けて

講師 : 中村 捷 (東北大学名誉教授)

村杉 恵子 (南山大学外国語学部教授)

John Wilson (南山大学外国語学部講師)

南山大学外国語学部開設 50 周年にあたる本年度の英語教員セミナーは、言語理論、コミュニケーション、英語教授法、言語獲得理論と読解のメカニズムに関する研究成果に基づき、実際の高校の授業に具体的に活用できる内容を紹介します。

第一日目は、本学の John Wilson 講師が、オーラル・コミュニケーションの授業への示唆を具体的に提案します。最新の電子機器を用いた教授法や生徒の声を積極的に引き出す方法から、教師の英語による指示表現に至るまで、実際の現場ですぐに活用できるような内容を取り入れ、より豊かで有効なオーラル・コミュニケーションの授業の方法を、最新の教授法に基づいて示唆します。

第二日目、三日目は、文法と読解を、短時間に有効に学べる方法を探ります。東北大学名誉教授 中村 捷先生は、「文法」一音と意味の結びつきを決める約束事について、句の構造とそれに関わる文法現象(削除、名詞句の構造、要素の前置など)を理論的に概観した上で、それを足場として、高校において構造や文法を効率よく教えるために教師が知っている有益と思われる情報を提供します。

村杉恵子教授は、言語獲得と読解に関する研究を概観した上で、具体的に、日英語の違いを射程にいたした「文の読み手」(例えば英語の動詞を日本語でオノマトペを用いて翻訳する)や、読解のストラテジーを駆使する「文章の読み手」になるための方法を、心理言語学の視点から考えます。また、最近話題になっている読み書き困難(Dyslexia)に苦しむ子どもたちに関する実態と内容にも言及し、その対処方法について最新の研究成果をもとにいくつか示唆したいと思います。

参加者と講師が、共に、最新の言語学・心理言語学と英語教育との間に橋を架け渡し、最新の言語理論と教授法の生きる授業を創ることをめざします。